

【第 239 回 監査実務研究会】

- 日 時 2020年9月28日（月）14：00～17：00
- テーマ 関電事件を多角的に深掘りする
- 問題提起者 (株)システムインテグレータ 監査役 眞田 宗興氏
元日本オキシラン(株) 常勤監査役 板垣 隆夫氏
- コーディネータ 元(株)トライアイズ 常勤監査役 古川 孝宏氏
- 会 場 文京シビックセンター5F 区民会議室C
- 開催方式 集合（26人）＋ ZOOM（35人）の併用方式

★未だ謎の多い関電事件を様々な角度から分析して、問題点と教訓を深掘りします。

『監査役的事件簿』の眞田氏、『監査役・いたさんのオピニオン』の板垣氏、『監査役の覚悟』の古川氏という当会ならではの異色の顔触れで真相に迫ります。

【報告概要】

I. 監査役は何故取締役会に報告しなかったのか—K電力金品受領事件 眞田 宗興

1. 事件の概要
2. 監査役会による検討
3. 弁護士の意見聴取
4. 第三者委員会の判断
5. 責任追及は監査役にも
6. 役員報酬補填に関するコンプライアンス委員会調査報告書（2020.8.17）

コメント

II. 関電事件の深層 板垣 隆夫

1. 基本的視点～日本経営倫理学会・ガバナンス研究部会例会報告から
2. 原発の闇の問題
3. 人権教育の問題～同和問題の闇
4. 組織風土の問題
補遺（おまけ） 関西検察の闇

III. 意見交換 司会 古川 孝宏

1. 報告者による相互コメント
2. 全体論議

以上